

各位

2020年10月8日
一般社団法人 軽金属溶接協会
事務局

溶接ヒュームの Mn 濃度の測定に関するお知らせ

厚生労働省によりますと、溶接ヒュームの濃度測定については体制作りを進めている状況とのことです。遅くとも来年の4月までには体制を整えるために、測定業者の登録を進めているとのことですが、中災防より、現在、暫定的に測定可能な機関、今回の法令による作業環境測定士の養成講習などの情報をいただきましたので、参考にいただければ幸いです。

<中災防からの溶接ヒューム濃度測定に関する情報>

①現在の測定について

どうしても今年度中に1度は測定を行いたいということであれば、中災防の全国7か所の各地区安全衛生サービスセンターで対応可能ですのでお問い合わせください。(下記 URL をご参考ください。)

ただし、溶接ヒュームの濃度測定の測定料金が中災防統一の料金を検討している途中であるため、暫定料金で見積り、測定を実施させていただくことになります。

なお、近畿安全衛生サービスセンターでは、作業環境測定を行っていません。近畿地区の作業環境測定は、大阪労働衛生総合センターで行っています。また、北陸支所及び四国支所では作業環境測定の業務は行っていません。

②作業環境測定士の養成について

来年の4月1日から個人サンプリング法による作業環境測定が施行されるのに伴って、「個人サンプリング法による作業環境測定を行うことのできる作業環境測定士」の養成講習(作業環境測定士特例講習)を今年度中に全国で20回以上開催することを予定しております。カリキュラムに実習がありますので、この特例講習を受講すれば、個人ばく露測定を行うことができるようになります。(URL 参考ください。)

③その他、講習会等の紹介等

作業環境測定協会が測定士のレベルアップのために実施しているブラッシュアップ講習会では、11月4日(木)に溶接ヒュームの濃度測定の話をするようになっていきます。この講習会の中で溶接面の内側にサンプラーの採取口が位置するようにすることを詳しく説明します。また、この講習会は、全国の作業環境測定士に向けて Web 配信される予定です。(URL 参考ください。)

https://www.jisha.or.jp/about/access/service_center.html

<https://www.jisha.or.jp/oohsc/sokutei.html>